

# すみよし ぬのいち ⑤住吉の宮 (布市神社)

本町二丁目 市指定記念物 史跡

布市神社は、もとは住吉の宮と呼ばれ、  
康平六年（1063）に富樫家<sup>いえくに</sup>が野々市に館  
を構えたとき、敷地内に社殿を造営したと  
伝えられています。



## べんけい あまごいいし 弁慶の力石 (雨乞石)

源義経<sup>みなものよしつね</sup>が奥州<sup>おうしゅう</sup>へ向かう途中、家来の  
弁慶が富樫の館に立ち寄って、余興にこの  
石を軽々と持ち、遠くへ投げたという伝説  
があります。

また、江戸時代、日照りの時に、この石  
を担いで廻ると雨が降ったことから、雨乞  
石とも呼ばれています。



## とがししせんぎょうひ 富樫氏先業碑

明治二十二年（1889）に野々市村の水毛生  
伊余門<sup>いよもん</sup>が、富樫氏の功績を後世に伝えるた  
めに建てました。水毛生家は家譜によると、  
富樫氏の家臣の家系と伝えられています。

石碑には、富樫忠頼<sup>とがしたより</sup>（※1）を祖とし、富樫  
政親<sup>まさちか</sup>が一向一揆<sup>いっこういっき</sup>に滅ぼされるまでの約500  
年の事跡が刻まれています。



※1 現在は最初に「富樫介」と称した家国が祖と考えられている。